



1月の予定

1 金	合格祈願詣に行こう	17 日	
2 土		18	学力試験成績返却とクラス分け発表
3 日		19	火
4 月		20	新入塾生の受付開始 (入塾生をご紹介ください)
5 火	3学期授業開始 冬休み宿題の解答	21	木
6 水		22	私立推薦入試始まる 新年度の時間割発表
7 木		23	土
8 金		24	日
9	自由通塾日 5:00p.m.~9:00	25	月
10 日		26	中3 受験クラス編成開始 (S...受験組、AB...確定組)
11 月	中3 時間変更で授業 中1は休講	27	1月カリキュラム調整期間 中3「1月のまとめ」
12 火		28	小学生「1月のまとめ」 中1「1月のまとめ」
13 水		29	中2「1月のまとめ」 金
14 木	第4回学力試験 小学生・中1生	30	自由通塾日 5:00p.m.~9:00 中3 理社 7:00~9:00
15 金	第4回学力試験 中2生※中3休講	31 日	
16 土	自由通塾日 5:00p.m.~9:00 中3 理社 7:00~9:00		体調を整えること。カゼに注意をしよう!

12月6日に二学期のまとめとしての父母会を行いました。本来は小学生から中2生までとじていましたが、急きょ中3生の西中の父母の方まで対象に広げて実施しました。

父母会の内容として伝えることは、小学生から中2までは

- ・通塾上のお願い、とくに車での送迎について
- ・現在の学習内容と今後の方向性
- ・塾内での様子

以上は各学年とも共通の内容でした。

その中でも小6生は英語授業の開始とともに通塾が週3回になることと、中1生への橋渡しとして日常生活で、就寝時間を遅くしてほしいこと。

中1生は期末テストでの結果がふるわない生徒の三者面談実施のお知らせ。

中2生は、来年度の準備として近隣私立高校の合格基準の取り扱い上の注意。

これらを共通項目以外にお知らせしました。なにぶんにも師走という時節のため出席することの難しさがありましたが、多くの学年で多数の方に出席いただけました。ただ、中2生のみは欠席が多くあったため、来年度の受験相談に支障がでるかもしれないと、懸念しております。とくに受験制度が年々変わり、その対応が各中学ごとに異なることにも不安が残るからです。

例えば、今回急きょ集まって頂いた西中の中3生の件があります。ここ数年西中では、2学期の成績結果を面談時に伝えないクラスがありました。結局は面談じにある程度は伝えていたのですが、今年はほぼ全員が口頭でも教えられないことになりました。

12月上旬に二学期の成績が把握できるかどうかでは、志望校を確定する上で大きな差が出てきます。一学期の成績で合格圏にあれば問題はないのですが、合格ラインに届かない場合は、二学期の成績を待たなければなりません。その成績が合格圏に入れば、改めて私立高校の個別相談に伺わなければなりませんし、届いてなければ他校を選択しなければなりません。かたくなに成績結果を伝えないことの影響は、生徒自身にその不利益が生じるだけです。

少なくとも、埼玉県中学校長会・進路対策委員会の「QandA」に次のように公開されています。

・調査書の本人保護者への提示は、12月の最終授業日から2月3日とする。(前年同様)

・口頭での評定の開示は、評定が確定し次第行うことは差いつかえない。

とあるのですから、他の中学校と同様に平等な取扱をしてほしいと思います。

そして、このことは今の中2生にも当てはまることなので、今からその対処を考えなければならないでしょう。

ご報告

「第4回 早稲田学力試験」日程

- 中学一年生 14日(木) 数学・国語・英
午後6時50分~9時10分
- 中学二年生 15日(金) 数学・国語・英語
午後6時50分~9時20分
- 小学生 14日(木) 算数・国語
午後5時~6時40分

- ▼ 試験範囲は冬休みまでに習った内容です。
- ▼ 都合で受験できない生徒は連絡をください。時間の許すかぎり振り替えて実施します。
- ▼ 中学生は試験結果でクラス分けをします。クラス発表は、個人成績の返却と同様に普段の授業時間に行います。
- ▼ 個人成績の返却は18日以降の授業時に渡します。
- ▼ 試験後の最初の授業に解答をし、中学生はその後に『まちがいノート』を提出してもらいます。

「2学期期末テスト」結果

得点分布	英 語			数 学			国 語			理 科			社 会		
	中3	中2	中1	中3	中2	中1	中3	中2	中1	中3	中2	中1	中3	中2	中1
100点		1	1	4	8	2		1	1		3	1	1		
99～95点	8	3	6	5	5	3	6	1	7	2	5	6	3	3	1
94～90点	1	6	9	5	4	10	7	9	7	7	2	7	2	3	8
89～85点	8	8	3	9	7	4	5	3	2	3	6	3	6	1	7
84～80点	4	4		3	2	2	5	1	5	5	7	2	2	6	1
79～70点	2	5	4	4	2	2	6	3	2	8	4	3	7	5	4
69～60点	3	2	2			2	1	1		3	2	4	4	6	3
59～50点	3				2					1	1		5	3	
49以下	1	1	2			2			3	1		1		3	3
塾内最高点	99	100	100	100	100	100	97	100	97	98	100	100	100	97	98
塾平均点	82	84	85	89	89	84	86	90	85	80	85	84	77	73	78

クリスマス

(記 満理)

毎年恒例の「クリスマス競技会」。今年は年内授業最後の24日に開かれます。小五・小六が合同で、算数・国語(もしかしたら特別科目も?)において、個人や団体が競います。参加賞あり! 優秀な成績を収めた生徒達には更に商品あり! 団体戦での賞品もあり! の、いつもとは少し違う楽しい時間で今年をしめくります。他学年でも、もしかしたら何かちょっとしたことがあるかも? かもしれません。

クリスマス競技会は、実はもうかなりの伝統行事のようで、私が在籍していた頃はもちろん、兄の雅也先生が在籍していた頃も行われていたそうです。私はその時、様々な賞品が並ぶ中で三十センチ定規を選び、それがなぜかとても嬉しくて、今でも大切に持っています。みなさんの中でも、後々何かの折に思い出す時がくるような会になるといいと思います。

多書

(記 雅也)

『私を離さないで』(ハヤカワ epi 文庫)、1月から綾瀬はるか主演でドラマ化される作品です。ストーリーは「優秀な介護人キャシー・Hは提供者と呼ばれる人々の世話をしている。生まれ育った施設ヘルシヤムの親友トミーやルースも提供者だった。キャシーは施設での奇妙な日々を思いをめぐらす。図画工作に力を入れた授業、毎週の健康診断、保護官と呼ばれる教師たちのごちない態度。彼女の回想はヘルシヤムの残酷な真実を明かしていく…」というもの。『世にも奇妙な物語』のような世界を想像させます。

作者の**カズオ・イングロ**は1954年長崎生まれ、イギリスで育ち国籍も変更、失われゆく伝統的な英国貴族を描いた『日の名残り』で同国最高の文学賞・ブッカー賞を受賞しています。両親は日本人ながら、日本語はほぼ話せないそうです。そんな作家のもう一つの代表作で、各方面から非常に高く評価されているのがこの作品です。設定こそ極端ですが、実に静かで穏やかに主人公の運命が描かれ、深い感銘が残ることでしょう。印象としては、知能をなくしていく哀しさを描いた『アルジャーノンに花束を』に近いかもしれません。最近多い、「泣けると多数の反響」などと評している薄っぺらい小説に飽きたら、読んでみるといいと思います。

【今月の野ち】ヘラオオバコのロゼット (記 玉美)

「ロゼット」というのは、植物の冬越しの方法の一つで、鍋敷きのように、地面に張り付くように平たく葉を広げた姿をしています。なかなか美しいものもあり、それらは“冬の花”と例えられたりしますが、何もない冬の野だからこそこの“花”といえるでしょう。

ヘラオオバコも地味ながらそのひとつではないかと思えます。色は単一ですが、他のロゼットと異なって生彩のある色をしており、すっきりした縦縞模様の葉がきれいな放射状に広がっています。どこでも見られますから、一度さがしてみてください。(写真下は春に咲く花)

年賀のご挨拶について

毎年、塾生に『年賀状』を出していますが、十分に把握できないために、ご不幸のあったご家庭へもお送りすることがあります。その場合はご寛容のほどお願い申し上げます。

ってください。とくにこの冬がチャンスです。楽しい行事を控えた中でもこれを習慣づけると良い結果につながります。

●通知表が渡されます。通知表を前にいろいろなことを話し合ってください。良い評価、悪い評価をいつもと違った雰囲気です話し合ってください。3学期には必ず効果がでるよう、ていねいに話し合うことです。

塾長の独り言

◎生徒諸君に! 夢と志を持って

「挫折と後悔のない人生はない」と言われている。それを乗り越えたときに、人生の充実感、生きているという実感を味わえるのだと思う。

今子どもたちに持ってほしいのは、夢(ゆめ)と志(こころざし)である。

夢とは自分の理想であり、希望であり、自己実現である。志とは社会(他者)に対する思いであり、貢献であり、使命感である。例えば、「人の命を救いたい(志)から医者(夢)を目指す」ということである。

夢を現実のものにするためには、長く苦しい過程を経る必要がある。それゆえ、志のない夢は儚(はかな)い。

クリスマス、大晦日、正月・・・楽しい行事に溢れた冬休み、勉学に励むのは辛くつまらないことかもしれない。しかし、君の夢を実現するためにはどうしても必要なことだ。本当の喜びとは、そうした苦しい日々の向こう側に存在する。そして、それを支えるのは君の気高(けだか)い志だ。

冬休みを前にして考えましょう

●子どもに勉強をさせたいなら⇒まず子どもの机の上や周辺を片付けさせましょう。

マンガ本やゲームなど気にかかるものは置かないことです。携帯電話は家の中では携帯させないようにしてください。

基本的に机の周囲には、勉強以外のものを置かないことです。さらに曜日ごとに同じ時刻に勉強するという習慣をつくら